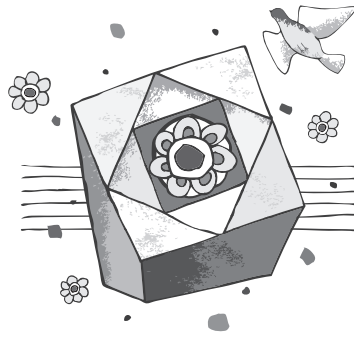


Q & A



患者さんからの 質問箱

透析導入

Q 1 高齢なのに血液透析を導入しなければなりません。この不安にどう向き合えばよいのでしょうか。

A 1 透析を余儀なくされた方の心は、その時々で、時には大きく、時には小さく、振り子のように揺れ動いているのではないかと思います。このまま、自分はどうなってしまうのか？ 食事制限で何の楽しみもない、家族の重荷になる、苦しいのはいやだなど、いろいろなことを考え、悩まれることと思います。

ご高齢とはいえ、初めて導入される方もいれば、維持透析をされている方もいます。私たち看護師は、透析を一生の治療として受けられる方々のニーズを、的確にしっかりとつかむことが必要だと思っています。

透析看護で大切にしたいことは、患者さん・ご家族とのコミュニケーションです。患者さんがその思いを率直に表わせるようなかわり方はとても難しいことですが、じっくりお話を聞くことができる看護師でありたいと思っています。そうすることが、患者さんがご自身で一歩前進することにつながるのだ

と信じて支援しています。

思いを言葉にすることで、心が整理できることもあります。今の気持ちを言葉にしてみてください。素直な自分を見つめること、そのこと自体を時には認めたくない自分がいたりするかもしれません。でも、時間をかけて共に歩むことができたらと、ご家族の方々は思われているのではないのでしょうか？ もちろん私たちは、そうありたいと心から願っています。

個人差はありますが、高齢者の中には身体機能の低下とともに、理解力・自己管理能力が衰えてきている方もおられます。

透析導入時には、「透析とは？」というその理解から始まり、「食事」・「検査」・「薬」・「運動」・「シャント管理」・「便秘」・「睡眠」などの学習や実践がありますが、急がずゆっくりと、一つ一つ、患者さんの歩調に合わせ、ご家族も含めた指導が重要だと考えています。

私たちスタッフも、時間をかけて透析自体

を生活に組み込めるようお手伝いし、しかも心と体の苦痛を軽減できる治療内容・看護でなければならないと思っています。ですから患者さんも生活に合わせて、けっして難しい

内容ではなく、ポイントを押さえながら、できるところからやってみてください。それでいいのです。

(長山勝子／岩見沢市立総合病院・看護師)

透析時間

Q2 私は現在、週2回、1回3時間の透析を受けています。先生から、週3回の透析が必要と言われていますが、現在の回数、時間でも身体への負担が大きく、これ以上の回数、時間の透析は受けたくありません。どうすれば良いのでしょうか。

A2 透析治療は、本来の腎臓が常時行っている働きを短時間に集中して代行する治療法です。

腎臓は毎日24時間休むことなく働いて、身体の状態を健全に保っています。

ですから、身体に装着できて、常に腎臓の働きを代行できる人工腎臓が開発されれば、患者さんにとってどれほど快適かと思います。しかしながら、現在の保険制度では月に14回、すなわち週3回の治療しか認められていません。

あなたの希望される回答と少し違ったお話になりましたが、もう少し、分かりやすくお話をさせていただくと、あなたの週2回の透析ですと、本来の健康な腎臓が7日間連続して行っている働きである168時間分を、6時間

で一気に果たしていることになります。そうした場合、身体に急激な変化が加わり、その負担は大変なものです。つまり、週2日の透析のほうが週3日の透析よりも、身体への負担が大きいのです。ですから、透析治療中も、透析が終わってからの生活においても、体調がすぐれず、つらい時間を過ごされているのではないのでしょうか。

こうした理由から、先生と十分に相談されて、週3回の透析を受けられることをお勧めします。必ず、快適で、体調の良い生活が過ごせるようになることと思います。

透析治療を敬遠することなく、生活の一部として、快適で楽しみのある人生を過ごされますよう願っています。

(高田貞文／明和会 田蒔病院・臨床工学技士)